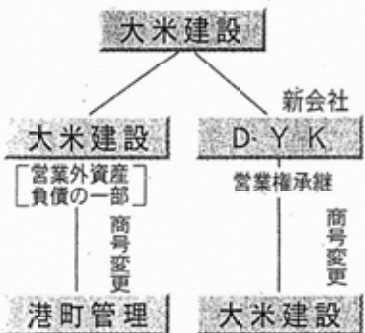


大米建設、再生へ分社

新会社が事業承継

旧社で債務返済

大米建設の会社分割



県内建設業大手の大米建設（那覇市、下地米蔵社長）が事業再生に向けた会社分割法に基づき、再生策を3月1日付で承継。管理部門となる旧会社が資産や負債の一部を引き継ぎ、資産売却などで債務返済を進める。

（9面に解説）

いた。負債額は80億円以上とみられる。今後は、本業に経営資源を集中することで、安定的な利益確保を目指す。

同社は「建設業を取り巻く環境は厳しさを増している。時代の変化に的確に対応するため会社をスリム化し、体質を強化していきたい」と話している。

大米建設は、04年6月決算で初の赤字決算となり、同年からメーンバンクの琉球銀行から出向を受け入れ、再建を進めて

きた。05年以降は黒字を確保し、今後も本業の建設業で十分な収益が見込めるとして、会社分割による再編を決めた。

同社は昨年12月に同社役員や取引先企業の法人、個人が出資して新会社D.Y.K.（資本金4000万円）を設立。今年1月12日の臨時株主総会で会社分割を決議した。D.Y.K.は3月1日付で「大米建設」に商号を変更して建設業として再スタート。旧会社は「港町管理」に変更する。